

R5空間デザインラボ～学生が描く「未来のメディアプレイス」～

令和5年度も大阪公立大学工学部建築学科3回生の建築設計実習で、これまでの「図書館＝本を読む場所」という概念を覆し、人々が読書し、学習し、居心地がよく、地域に開かれ、さまざまな人・情報・出来事に出会い、動く場＝「未来のメディアプレイス」を提案してもらうことになりました。

Step

1

学生まち歩きワークショップ（2023.9.28）

新図書館を提案するにあたり、学生のみなさんは岸和田の現状を知るため、城周辺、図書館周辺、商店街周辺、駅西側周辺をまち歩きしました。その後、まちについて各自が思ったことをシェアし、岸和田にどんなものがあったらよいかをみんなで考え発表しました。



岸和田城周辺	図書館周辺	岸和田駅前通り商店街	岸和田駅周辺
● 木造古民家、瓦屋根建物が多く風情ある街並み。 ● 岸城町北部町会館は10代と高齢者が関わりを持つ場になっていた。 ● 溜まれる場所がない。 ● 平日昼ということもあるが観光客がほとんどいない。 ● お堀にゴミが多い。 ● 観光客が食べ歩けるような場所がなかった。	● 南海線より東側の民家が多いエリアは、城周辺に比べると公園が少ない。少しお店があるといい。 ● 高校や幼稚園があるが、公園や広場が少ない。 ● 図書館横の幼稚園がアクセスしにくい。動線を工夫すればもう少し何かできそう。 ● 端材マーケットは木材を使ったワークショップなどをするよさそう。	● 岸和田駅周辺は道幅が広く、一步入ると路地と住宅街が広がっている。 ● 洋服屋さんの店先で奥様達がおしゃべりしている風景が見られた。 ● 壁に囲まれた場所、海外のようなビビッド色が見られる場所、迷路のような路地空間が魅力的。	● 岸和田駅の東西で人の多さが異なる。商店街側の西は歩行者・自転車利用者が多く、東側は車の通行量が多い。 ● 駅東側は、中高生の帰り道になっている。 ● 信号待ちの人が休めるような木々とベンチがある。レターBOXもある。



岸和田城・図書館周辺

- お年寄りの集まれる場があるとよい
- 学校から駅への通り道には学生が溜まれる場を作る
- まちを歩くと楽しめるコミュニティを作る
- 通学路になっているので、学生も溜まれるような多世代の人が関わりをもてるまちにひらいた場ができたら良い

学生22名、先生2名、大学院生2名、事業者3名でまちを歩き、意見を出し合いました。



商店街・岸和田駅周辺

- 空き家になった長屋を改装して、学校帰りの学生たちが溜まれる場を作ったらよいのでは
- 駅前の広場を使って東西をつなぐ何かできないか

Step
2

大阪公立大学工学部建築学科 3 回生設計課題演習 中間・最終講評会に参加してきました！ (2023.10.19・11.9)

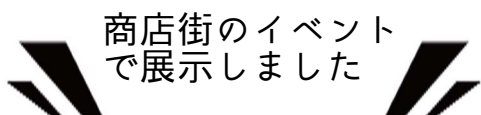
学生のみなさんが、実際に岸和田のまちを歩き、グループに分かれ、イメージした模型の講評会が大阪公立大学で行われ、図書館から、講評、審査に参加させていただきました。



Step
3

図書館本館で展示 (2023.12.7~2024.1.30)

講評会で選ばれた作品を図書館で展示し、来館者による投票を行いました。



こどもの家	102 票
5colors are with books	134 票
スタジオ岸和田	54 票
春夏秋冬、ときどき特別	86 票
本と街の漂流	90 票

NEWS

数年にわたり、空間デザインラボに参加してくださっていた岸本結花さんが、岸和田市立図書館を調査対象にした図書館について書かれた修士論文「音がある図書館の空間構成と音環境の構築に関する研究」が日本建築学会で、優秀修士論文賞を受賞しました。

R6 空間デザインラボも予定しています。